

# 令和4年度 保育園の自己評価

令和4年度3月末日  
社会福祉法人翔福社会  
かりゆし保育園  
園長 喜屋武 恵子

## テーマ「子ども達が安心して生活できる保育園づくりを目指して」

### ○当園が目指す保育とは？

- ・日々の子ども達の姿から保育者同士で語り合い、翌日の保育を紡ぎ出す事。
- ・子ども達が安心感を持ち、友だちや保育者と生活や遊びを通して経験を積み重ねていける保育。

### ○その保育を実現するための課題

- ・子ども理解（未熟な存在から有能な学びとしての子ども理解）
- ・子ども達の育ちを保護者と共有する。  
（ポートフォリオやボードフォリオ等の活用）

### ○課題改善に向けての取り組み

- ・ポートフォリオの取り組みについての振り返り  
保育参観時に閲覧できるようにする（一部クラス）
- ・コードモンの導入（登降園時の打刻・お便り配信）
- ・法人勉強会での外部講師依頼（※1、※2、3）

### ○課題改善の中から見えてきたこと、令和5年度の取り組みへのバトン

今年度は令和2年度から取り組み始めたポートフォリオについて、私たちが考えるポートフォリオの意義を新入園児面談時に保護者の皆さんに伝え、保育者と保護者とで令和2年からポートフォリオに取り組んできた。これまでの取り組みを後半の保育参観の時に手に取り途中経過を見てもらうことができた。その結果、保護者の皆さんへポートフォリオの意義が実際に手にとることにより伝わりやすい事が分かった。課題として一部のクラスではなく全体での取り組みにし、保護者の皆さんがポートフォリオファイルのイメージができ積極的な関わりがもてるよう、定期的閲覧できる工夫を考えたり保護者へのアンケートなどを行いより充実したものにしていきたい。

また、今年度から導入したコードモンではクラスの毎月のボードフォリオや園だより等の配信、登降園の確認や園の様子を動画配信等の機能を利用した。今後は0,1,2歳児のお便り帳のやりとりを写真を添付しながら配信できるように目指したい。

法人勉強会では外部講師の岡花祈一郎先生（琉球大学学校教育専攻子ども教育開発専修准教授）による講話が年2（6月もっと保育を自由に～多様な実践から学ぶ・10月保育の悩みを言葉にしよう～共働の保育実践～）でかりゆし諸見保育園職員と共に学びを深めた。（※1）勉強会でのグループ討議の中では「保育の中でやってみたい事→みんなで実現するためには」のテーマで語り合い子ども達の姿と向き合いながら保育実践を進めることができた。また、かりゆし諸見保育園で行われた保育環境研究家でおおぞら教育研究所代表の木村歩美先生を招いての講話、ワークショップを12月と2月に参加し環境について学び合った。（※2、3）環境作りに取り組んでいる全国の保育園の実践を木村さんから静止画、動画で見ることができ保育の可能性を感じる事ができた。また「片づけ」について話し合い、ワークショップでは園庭の道具を子ども達が気持ちよく片づけができるように保育者が設計から買い物、木材の切断、組立まで行った。完成した収納棚に子ども達も積極的に道具を片づける姿が見られ保育者の次なる取り組みへの意欲が生まれたワークショップとなった。

令和5年度は「対話」をテーマに生活、遊びの中での「対話」から子ども達との信頼関係をより深め、遊びの展開を楽しみ、生活を充実させていきたい。また職員間での「対話」も大切にしながらチームワークを円滑にし子ども達が園生活をいきいきと楽しめるようサポートしていきたい。



※1



※2



※3